

政策 04 安全で安心なまちづくり

施策 05 消費者・生活者の安心の確保

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
消費者トラブルなどに遭わず、安心して生活ができています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	この1年間に消費者トラブルに遭った市民の割合（％） 【産業課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
		2.2	-	3.0	1	☂ (低下)
評価	(状況) 令和元年度(1.9)の実績値に比べ、現状値が1.1ポイント増加した。 (原因) 消費生活に関するトラブルの内容が複雑化しており、手口も巧妙かつ悪質になってきていることや、スマートフォンの普及によりインターネットによるトラブルが増加したことが要因である。	(％) 				対 前年度
		☂ (低下)	目 標 達成度			
						(---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 賢い消費者の育成

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	消費生活啓発事業の参加者数（人）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【産業課】	750	795	1,218	800	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が423人増加した。 (原因) 消費生活展の開催期間を前年度より2日間拡大したことにより参加者が増加したことが要因である。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 消費生活相談の充実

指標	消費生活相談対応率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【産業課】	100	100	100	100	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 前年度同様の対応ができています。 (原因)					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 消費生活相談の充実

指標	(参考：消費生活相談件数)（件）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【産業課】	192	206	168	200	☔️ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値は38件減少している。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大によるインターネット利用の増加から、インターネット及び電話関連の相談が増加したものの、金銭トラブルや販売方法のトラブルによる相談が大幅に減ったことが要因である。					対 前年度
						☔️ (低下)
						目標 達成度
						(---)

基本事業03 専門的な市民相談窓口の充実

指標	市民相談対応率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【暮らし政策課】	89.7	87.7	93.3	95	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が5.6ポイント増加した。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が広がり始めた令和2年度に相談することを控えていた方が、令和3年度になり、相談に来たことが、増加の原因として挙げられる。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目標 達成度
						(---)

基本事業04 相談窓口の周知

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	消費生活相談と市民相談の窓口を知っている市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		【産業課】	54.8	-	47.2	70
評価	(状況) 令和元年度(54.5)の実績値に比べ、消費生活相談は、現状値が7.3ポイント減少した。 (原因) 継続してホームページや広報により周知を行っているが、知っている割合が年々減少傾向にあるため、周知の方法が限られているが要因である。					対前年度
			☂ (低下)	目標達成度 (---)		